

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【タイ】

タイにおけるBCG経済の推進について

1. はじめに

先日、タイ進出企業の一社から印象的な話を聞きました。それは「タイは再生可能エネルギーへのアクセス性を高める必要がある。自社の使用する電力を再生可能エネルギーにしたいが、火力発電の割合が高い国であり容易ではない。」という内容でした。また、これからは「再生可能エネルギーを使用して製造した〇〇」、「石油由来の原料不使用の△△」等がスタンダードになるのではないかとのお話もありました。前述の企業は今後取引先からそうした要件を求められることが想定されるため、自社の使用電力を火力発電から再生可能エネルギーに移行し、環境へ配慮した製造体制にシフトすることを希望していました。

前回のタイ駐在員によるアジアニュースでは、タイにおけるSDGs動向について取り上げました。その中で、SDGs目標の達成に向けた経営や設備投資が求められるに従い、タイにおいても新たなビジネスが創出される可能性について触れました。おそらく冒頭のタイ進出企業のような現地のニーズを汲み取ることが新しい進出の切り口になるのではないかと考えています。

そして、近年タイにおいてはそのSDGsをさらにタイの実情に落とし込んだ「BCG経済」という言葉が注目を浴びています。今回はタイ経済の課題を解決に導き、新たな成長エンジンとなることが期待されるBCG経済について説明し、タイ進出をご検討中の企業様や自社の技術で世界に挑戦したい企業様のご参考になればと考えています。

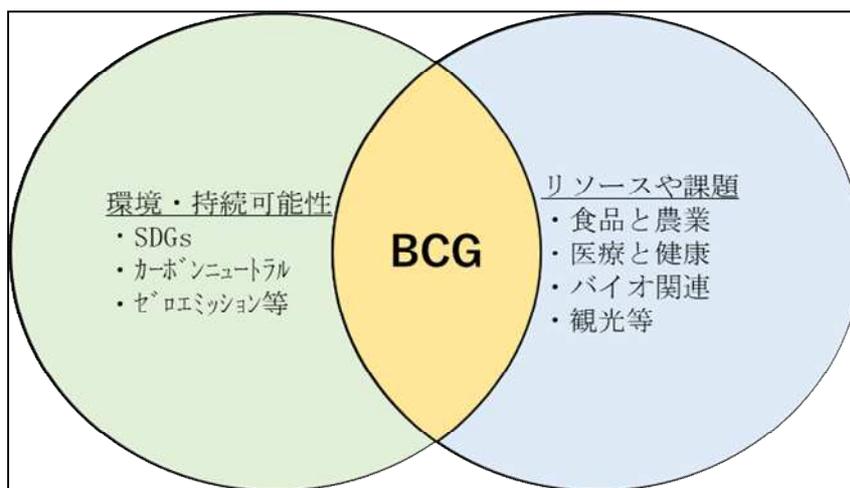
2. BCG経済とその成長について

この「BCG経済」という言葉ですが、多くの方にとって馴染みのない言葉かと思います。BCGとは「Bio(バイオ)・Circular(循環型)・Green(グリーン)」を頭文字とする造語でタイ国内において独自に提唱されている経済用語です。

BCG経済とは、端的に言うと「環境への配慮」と「持続可能性」をキーワードにB(bio)C(circular)G(green)の観点で「タイの産業リソースの強化や課題の解決」を図る経済政策であり、その結果、多様なビジネス機会を創出することが期待されています。(表1参照)

例えば、タイは世界でも有数の農業大国（コメ、サトウキビ等の一大産地）で、農業従事者は実に国民の 32%にも達していますが、一方で農業従事者の所得向上や高齢化等多くの問題を抱えています。こうしたタイ特有の課題を環境や持続可能性の観点から解決することでタイ経済の強靱化と活性化を図る政策が BCG 経済です。例に挙げたタイの農業における課題の「所得向上」や「高齢化」については、スマートファーミングによる付加価値の創造や効率性の向上が一つの解決策として注目されています。

<BCG 経済のイメージ図>



出典：筆者作成

〈表 1〉

食品・農業	スマート・ファーミング、植物工場、貴重な産品の農業・養殖、健康食品・高付加価値なバイオ成分、代替タンパク質など
エネルギー・材料 ・バイオケミカル	バイオマス・バイオリファイナリー発電、水素発電、循環配慮型化学物質・ポリマー、生分解性バイオプラスチックなど
医療・ウェルネス	遺伝子治療、ワクチン、バイオ後続品、医療機器、遠隔医療、タイハーブを含む生体材料の医薬品・医療製品、臨床研究など
廃棄物マネジメント ・リサイクル	廃プラスチックのリサイクルなど

出典：JETRO「タイの BCG 経済モデル、スマートファーミングやバイオ技術に商機 BOI・EEC・EECi が提供する投資機会とイノベーション連携」を基に作成

BCG 経済はタイ政府が国を挙げていま最も推進している経済政策の一つです。近年では、2021 年 1 月にプラユット首相が BCG 経済を国家戦略モデルに据えると表明した他、BOI(タイ投資委員会)長官は、BCG 経済分野が 2021 年から 2025 年の 5 年間で GDP の

25%に相当する 4 兆 3,000 億バーツ(約 15 兆 500 億円)の規模にまで成長するとの予測を発表しており、日に日に国内外からの BCG 経済への注目度は高まっています。

3. BCG 経済分野の動向

昨年 12 月の JETRO の調査で、BCG 経済分野への 2021 年第 1～3 四半期の BOI への直接投資申請額は前年同期比で 2.6 倍の 1,284 億バーツ (約 4,494 億円) で直接投資申請額全体の約 4 分の 1 相当であることが明らかになり、特に近年は BCG 分野への投資が増加していることが鮮明になりました。

大きな期待が集まる BCG 経済ですが、直近の日系企業の動きとしては、2022 年 1 月に丸紅(株)のタイ子会社である丸紅泰国とタイ製糖大手ミトポングループがバイオベース製品関連事業および再生可能エネルギー開発で協業することを発表しました。丸紅(株)のリリースでは、今回の提携について「ミトポン社の保有する農業残渣を含めた、あらゆる農業由来のリソースを活用し、バイオベース製品の原料開発と包装資材・食器等の製造・販売及び、再生可能エネルギーの開発・導入等を目的とするもの」とされています。農業大国であるタイの農業残渣等を技術によって資源化する動きはまさに BCG 経済の一環であり、当該分野の成長を視野に入れた試みとなっています。

4. おわりに

タイ政府による BCG 経済の推進を受けて、BOI も海外からの当該経済関連分野への投資を強く募っています。日系企業のタイへの投資規模は大きく一定の存在感を有していますが、BCG 経済関連分野に関しては現段階で日本企業からの投資は少なく、今後の参入にはまだまだ大きな期待が寄せられています。(進出に際して BOI より恩典付与を受けることで法人所得税免除などを複数年に渡って受けることができます。)

表 2 はタイの社会や経済において BOI が産業セクターごとに挙げた課題の一例ですが、その他現時点ではまだ認知されていない潜在的な課題もあるかと思えます。下記の課題を見られてピンと来られた企業様、自社の技術やノウハウを海外で活かしたいと考える企業様、山口フィナンシャルグループでは海外展開をご検討される企業様のお手伝いをしておりますので是非一度お声掛けください。

〈表 2〉

	食品と農業	医療とウェルネス	エネルギー・バイオ	ツーリズム
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・変動性の高い作物価格と低所得農家 ・減少し続ける資源 ・農業従事者の高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会 ・輸入依存型の医療機器と医薬品 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家のエネルギー確保 ・輸入エネルギーの減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰ツーリズム＝ツーリストの数がロケーションの容量超過 ・天然資源の減少

出典：タイ投資委員会「BCG 産業における投資機会と BOI 支援策について」資料に基づき筆者作成

(山口フィナンシャルグループ 海外出向【タイ】高木 岳史)

【参考文献】

丸紅(株):タイにおけるバイオベース製品及び再生可能エネルギー開発に向けた覚書締結について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2022/release/00009.html>

NNA:丸紅、製糖ミトポンとバイオ製品などで協業

<https://www.nna.jp/news/show/2290570>

JETRO:タイの BCG 経済モデル、スマートファーマリングやバイオ技術に商機 BOI・EEC・EECi が提供する投資機会とイノベーション連携

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2021/81285571d8e6c862.html>

JETRO:BCG 経済モデル実現に向け、EV や工場グリーン化の取り組み進む (タイ)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2021/0401/a5b7f3c6f92d66e8.html>

JETRO:投資委員会、BCG 経済分野の投資動向を発表

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/12/a9de1f5c28e46016.html>